

Supermileage Car Challenge HIROSHIMA 2023 チーム紹介

1 名城大学 TEAM SPICA(愛知県)

私たち名城大学は、長年エコマイレージチャレンジに参加してきました。製作から10年近く経過するSPICAは、CFRPの軽量なボディや流線型のカウル、転がり抵抗の少ないベアリングなど、燃費を少しでも良くするためにあらゆる工夫が施されており、全国大会で準優勝するほどのポテンシャルを持っています。しかし、ここ数年の大会では、トラブル続きで思うように結果が残せていません。エンジンの調子は良いのですが・・・今回の広島大会は、4年ぶりの開催ということで、私たちの代は参加経験がないですが、入賞とまではいかなくとも、普段のクラブの活動で調整をひたすら積み重ねてきた成果を形にして、SPICAが再び実力を発揮するきっかけとなればと考えています。また、ほかのチームの方々と交流できる貴重な機会なので、私たちのチームの未熟な点を客観的な視点から見直し、チームの成長の糧にしたいと思っています。よろしくお願いいたします！



2 名城大学 Team ^{かぐつち} 軻遇突智(愛知県)

私たちは製作して19年目の車両でスーパーマイレージカーチャレンジ2023に挑みます。今年の目標は3位以内に入ることです。そのために、様々な工夫をして挑みたいと考えています。車体については軽量化に力を入れており、カーボンハニカムサンドイッチパネルでフレームを作成したり、カウルにもカーボンを使用するなどをして軽量化を意識しています。また、軽量化だけではなくエンジンの熱効率の追及もしており、日々様々なパーツの改良や調整を行っています。他にも、流線型のカウルにより、空気抵抗を最小限にしています。久しぶりの本大会ですが、ベストパフォーマンスを発揮できるよう、チーム一丸となって頑張ります。よろしくお願いいたします。



3 みみっちーず(滋賀県)

滋賀県から参加の「エコランチームみみっちーず」です。
久しぶりの広島大会ですので、気合が空回りしないように頑張ります。大して進化はしていない安定型のマシンで望みます。どうぞ皆さん お手柔らかに。



4 team Y2 (福井県)

皆さん、お久しぶりです。

(旧チーム名)チームグラダです。

実は、ドライバーの坂本君が不慮の事故で亡くなりました。

不吉な事を書いて申し訳ありませんが、もう9年前になりますので喪も明けた頃だと思います。

何よりもこのレースを愛し、楽しみにしていた坂本君の為にもカムバックします。

チーム名も改名しまして、ワンオフ工房が製作する新型眼鏡Y2に因んで「チームワイツー」でチャレンジ致します。

心待ちにしていたスーパーマイルレヅチャレンジを再開される関係者皆様のご努力に感謝申し上げます。



5 南陽工業高校科学研究部(山口県)

南陽工業高校科学研究部は、計5名で活動しており、省エネカーの製作を通してものづくりの様々な技術・技能を学びながら、日々楽しく過ごしています。

前回出場した4年前はアルミニウム製パイプフレームでしたが、それをカーボンモノコック構造のものに作りかえました。エンジンにも手を加え、クランクシャフトやカムシャフトも変更しています。ボディは前回のものを使用しているので外観はほとんど変化していませんが、中身は別物といえます。

今年度は、5名中4名が1年生で、ものづくり自体の経験が浅く、広島大会経験者もいないので、シャーシローラを用いた台上試験や自動車学校での実走行試験を多く行い、本番をイメージすることに努めてきました。

目標は、すべての走行で完走し、過去の自分たちの記録を更新することです。

暑さが厳しい時期ですが、体調を整え、チームワークをしっかりと発揮していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします！



6 瀬田工業高校 1号(滋賀県)

7 瀬田工業高校 2号(滋賀県)

滋賀県立瀬田工業高等学校(全日制) 自動車部 です。

2年前に顧問が交代して、しばらく取り組めていなかったエコカーレースに参戦するようになりました。昨年度は1台、本年度はプラス1台の2台体制です。

車両を作るのも手探り状態で、燃費を競うレベルには遠く及びませんが、大会で勉強するを目的に初めて参加します。まずは、無事出走し完走することと、大会中できるだけ多く走行し、よりよい操作方法を見つけたいです。

6月10日のHonda エコマイレージ鈴鹿大会では1号車が226.624 km/l、2号車は未出走でした。



81 Clean Diesel Team(兵庫県)

兵庫県立但馬技術大学校自動車部は、自動車整備士を目指す学生たちが学んだ知識や技術を実践する場として創部し、国内では珍しいディーゼルエンジンを採用して省エネカーレースに挑戦しています。使用燃料に関しても、軽油にこだわらず FAME などを使用しており、国内外の省エネカーレースに挑戦しています。

新型コロナの影響は当チームに大きな影響を及ぼしました。コロナ禍、国際大会の『Shell Eco-marathon Asia』はバーチャル開催になり、広島大会は3年間開催が見送られ、バーチャル競技には挑戦していましたが、走行競技から遠ざかってしまいました。そして、いざコロナがあけると…学生メンバーが1名という状況に…まさに活動休止の危機的な状況です。

今年の広島大会では、コロナ禍に走行競技に挑戦できなかったメンバーの協力を得て参戦します。まずは完走を目指し、1本1本大切に走行したいと思います。できることなら、ベストレコードに近づきたいです。

最後になりましたが、当方の活動を支援して下さるサポート企業の皆様に感謝申し上げます。



E1 広島県立技術短期大学校(広島県)

広島県立技術短期大学校 制御システム技術科の学生たちで活動している EV-Project です。EV-Project は 2018 年に競技用電気自動車の製作を行い、2019 年から毎年夏に鈴鹿サーキットで開催される Ene-1 Challenge SUZUKA 全国大会に挑戦しています。

私たちは現在学習している内容や学校内の設備を活かし、メンバー同士で協力しながら週に3回を活動日として電気自動車の製作や改良に取り組んでいます。メンバーは短大の制御システム技術科の学生で構成されており、和気あいあいと活動しています。今回2回目の参加となりますが、精一杯走りますのでよろしくお願いします。



E2 江津工業高校(島根県)

江津工業高校 建築・電気科電気コース課題研究班です。私たちのチームは、3年生4名で構成

されています。

参加理由は、課題研究のテーマである「直流ブラシレスモーター」の性能を確かめるためです。私たちの車は、以前、本校の自動車部が製作したガソリンエンジン車から直流モーター車に変更し、改良を加えたものです。この直流モーターの特性をレースを通して調べ、制御方法や出力特性を発表会の資料にしていきたいと思います。4月から始めて、空いた時間を見つけては作業を続けましたが、それでも時間が足りず、練習走行はほとんどできていません。でもいいデータが残せるよう頑張りたいと思います。初めてのレース参加で、皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、私たちに指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



E3 404ecorun(滋賀県)

404ecorun は滋賀県の高校・短大のエンジンエコラン OB を中心にチーム外からのドライバー・メカニックの協力を得て運営してるチーム（と言う名のほぼ個人）です。

主に WEM GP や Ene-1 GP と言った電気エコランレースを中心に活動を行っています。広島大会は初めての参加となりますが、車体の性能を出し切りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

